

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2025. 10. 15

No. 743

2025年年末手当

要求書提出

基準内賃金×3.07ヶ月を要求する

2025春闘時に期末手当年間4.8ヶ月(夏季2.3 年末2.5)を要求しており、
2025年夏季手当1.73ヶ月だったため、その差額3.07ヶ月を要求する。

2024年度は、輪軸組立作業における不正行為が発覚し、また、多くの脱線事故が起きたことにより、JR各社を含め多くの荷主様に対して社会信用を大きく損なう事態となりました。

2025年度は、失った信頼を取り戻すため、組合員は相当の覚悟を持って「JR貨物グループは必ず復活する」を合言葉に国からの指定公共機関の責務として、日々、安全安定輸送に努めています。

期待された2024年度の連結決算は14億円の黒字にとどまり、2025年度の連結決算計画値では74億円としていましたが、度重なる自然災害や輸送障害により、10月の連結決算計画値では40億円と下方修正となりました。今後、輸送障害が多発する冬季に入ること、2025年度決算も厳しい結果になることが想定されますが、貨物鉄産労は会社の経営を常に考え、JR貨物における政策課題解決に向けJR連合と共に取り組んでおり、これまでの経過を踏まえれば、私達の要求に応えられる体力は十分にあると認識します。

失墜したJR貨物ブランドを回復にするためには、働く意欲・士気を上げなければなりません。そのためには、根底にある組合員の生活レベルを上げることが必須であり、人材確保・人材育成・人材定着のために労働条件を改善することは会社の責務でもあります。

以上を踏まえ、会社の状況が大変厳しいことは理解しますが、この難局を労使が一体となって乗り越えていくためにも、私達の主張を理解して頂き満額回答を強く求めます。

以上

趣旨説明は、10月21日(火)を予定しています。